

経済指標ウォッチャー

ユーロ圏PMI 2カ月連続で50を上回る

製造業の景況感が1997年の統計開始以来の最高水準

IHSマークイットPMI（購買担当者景況感指数）とは？

製造業やサービス業などの購買担当者を対象に新規受注や生産高、価格、雇用等の景況感について行ったアンケート調査結果を指数化したもの。その国(地域)で直接調査した結果を基に算出されるため、景気の実態が正確に反映されやすい。発表時期がGDP(国内総生産)など他のマクロ経済指標より早く、景気先行指数として注目度が高い。50が景気の拡大・後退の分岐点であり、50を上回ると景気拡大、50を下回ると景気後退を示す。

4月は2カ月連続で50を上回る

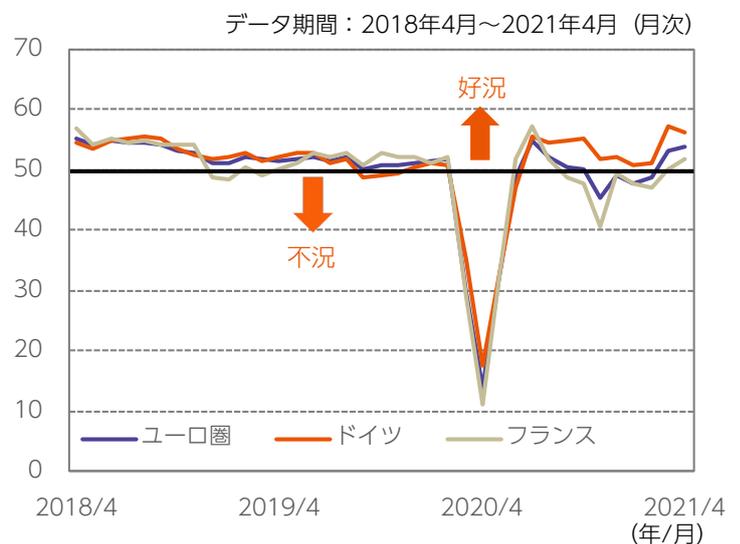
IHSマークイットが4月23日に発表した4月のユーロ圏総合PMI（速報値）は53.7と、3月の53.2から上昇しました(図表1)。好不況の節目である50を2カ月連続で上回り、足元の景気回復ペースの改善が見える結果となりました。同時に発表されたドイツ、フランスともに50を上回っており、欧州の景況感は徐々に改善しつつあることが示されました。

製造業PMIは過去最高水準に

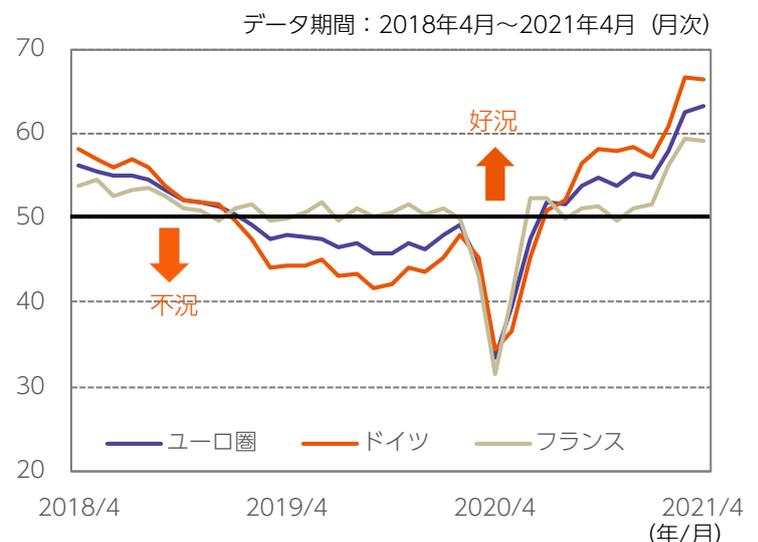
4月の製造業PMIは63.3と前月より0.8ポイント上昇し、1997年7月の統計開始以来の初の水準となりました。ドイツの製造業PMIは66.4と前月より0.2ポイント、フランスも59.2と前月より0.1ポイント低下したものの、50を大きく上回っており、製造業の景況感は強気な見方が続いています(図表2)。なお、サービス業PMIも50.3と前月より0.7ポイント上昇し、8カ月ぶりに好不況の節目である50を回復しました。

ワクチン接種進展は景況感のさらなる改善に感染再拡大による都市封鎖(ロックダウン)等の厳しい行動制限の影響から2021年1~3月期のユーロ圏のGDP(域内総生産)はマイナス成長が予想されています。しかし、足元では計画よりも遅れているワクチン接種が加速すると期待から先行きの景気見通しは改善しています。景気回復期待等を背景に欧州の景況感引き続き改善していくものと思われます。

図表1：総合PMIの推移



図表2：製造業PMIの推移



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>